

18 栄公園振興株式会社

令和2年7月1日現在

設立年月日	平成6年9月30日	代表者氏名	代表取締役社長 前田 健		
所在地	名古屋市東区東桜一丁目11番1号			電話番号	052-951-7101
ホームページアドレス	https://www.sakaepark.co.jp				
資本金・基本金	1,500,000千円	市出資・出捐金	787,500千円 (52.5%)		
所管部局	住宅都市局リニア関連都心開発部都心まちづくり課			電話番号	052-972-2758
設立目的	栄公園(広場ゾーン)は地上と地下が一体となった大規模な立体型公園を整備するとともにバスターミナルを建設する計画であり、都心の新たな魅力と賑わいの創出を目指している。このため便益施設の運営やイベントの開催などに民間の持つノウハウを活用することが必要となり、第3セクターを設立し、魅力ある都市空間づくりに寄与することを目的とする。				
主な事業	事業名	令和元年度 営業収益	事業の概要		
	不動産賃貸業	614,053千円	不動産の賃貸借及び管理		
	受託事業	160,274千円	公園施設、バスターミナルの管理受託		
役職員数		常	勤 非 常 勤		
	役員数	4人 (うち市派遣)	1人 (うち市OB)	3人	5人
	職員数	10人 (うち市派遣)	1人 (うち市OB)	3人	1人
常勤役員平均報酬 (市派遣職員を除く)		6,967千円	正規職員平均給与 (市派遣職員、臨時職員、嘱託職員等除く)		5,976千円
			正規職員平均年齢 (市派遣職員除く)		44.8歳
市からの財政支出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	委託料	0千円	0千円	0千円	
	内 随意契約金額	(0千円)	(0千円)	(0千円)	
	補助金	0千円	0千円	0千円	
	指定管理料	155,038千円	155,276千円	160,724千円	
損益計算書 (正味財産増減計算書)	貸付金 (年度末残高)	0億円	0億円	0億円	
	経常収益	756,072千円	775,338千円	775,497千円	
	経常費用	680,365千円	691,812千円	696,425千円	
	経常利益(損失)	75,707千円	83,526千円	79,072千円	
	当期利益(損失)	51,273千円	56,608千円	53,962千円	
貸借対照表	総資産	2,464,714千円	2,508,163千円	2,586,493千円	
	内 流動資産	(1,081,813千円)	(1,214,693千円)	(1,148,523千円)	
	内 固定資産等	(1,382,901千円)	(1,293,470千円)	(1,437,970千円)	
	総負債	586,850千円	573,690千円	598,058千円	
	内 流動負債	(122,126千円)	(160,947千円)	(175,212千円)	
	内 固定負債等	(464,724千円)	(412,743千円)	(422,845千円)	
	純資産(正味財産)	1,877,864千円	1,934,473千円	1,988,435千円	

経営に関する指標（共通指標）

18 栄公園振興株式会社

○法人の自立性		平成30年度	令和元年度	対前年度増減
市からの収入割合	$\left(\frac{\text{市からの委託料・補助金・指定管理料}}{\text{経常収益}} \right)$	20.0%	20.7%	0.7%
市との随意契約比率	$\left(\frac{\text{市との随意契約金額}}{\text{市からの委託料総額}} \right)$	0.0%	0.0%	0.0%
		令和元年7月1日現在	令和2年7月1日現在	対前年度増減
市職員の役員就任割合	$\left(\frac{\text{市職員の役員数}}{\text{役員総数}} \right)$	37.5%	33.3%	▲4.2%
固有職員比率	$\left(\frac{\text{常勤固有職員数}}{\text{常勤職員数}} \right)$	60.0%	60.0%	0.0%
○組織運営の効率性		平成30年度	令和元年度	対前年度増減
販売・管理費比率	$\left(\frac{\text{販売・管理費}}{\text{経常収益}} \right)$	10.4%	11.2%	▲0.8%
○財務の健全性		平成30年度	令和元年度	対前年度増減
自己資本比率	$\left(\frac{\text{純資産(正味財産)}}{\text{総資産}} \right)$	77.1%	76.9%	▲0.2%
流動比率	$\left(\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \right)$	754.7%	655.5%	▲99.2%
固定長期適合率	$\left(\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産+固定負債}} \right)$	55.1%	59.6%	4.5%
借入金依存度	$\left(\frac{\text{借入金+社債}}{\text{総資産}} \right)$	0.0%	0.0%	0.0%
剰余金(欠損金)	$\left(\frac{\text{純資産(正味財産)}}{\text{-基本金・資本金}} \right)$	434,473千円	488,435千円	53,962千円

○ 経営戦略計画 (H29～H33) の概要

経営戦略方針
① 安全・安心・快適を最優先にした施設管理 ② 三方(施設利用者・店舗等関係者・当社)良しの精神による経営基盤の確立 ③ 社員のモチベーションの高い組織基盤の確立 ④ 地域への貢献

主な経営戦略目標【戦略基軸】	主な成果指標(単位)	31 目標値	31 実績値
【Ⅰ. 公共サービスの充実】 A 市との協議により適切な管理経費を確保し、計画修繕を確実に実施 B 開業20周年に向けた施設リニューアル実施 C 近隣施設と一体となった連携、交流活動の推進	中長期保全計画の策定と着実な実施	実施	実施
	近隣施設と一体となった連携・交流活動の実施(件/年)	4	11
	コンサルタントの活用による店舗の補充(%)	100	100
【Ⅱ. 財務内容の改善・向上】 D 店舗入居の促進 E 経常利益の着実な計上 F 稼働システムの確立	リニューアルへの投資を見込む中での黒字経営	経常利益 1,912万円(累計17,834万円)	経常利益7,907万円(累計25,741万円)
	イベント内容の高質化による銀河の広場来場者数の増加(万人)	1,330	1,509
【Ⅲ. 効率性の発揮と成果】 G 市との協議による新たな事業スキームの構築 H 情報発信力の強化	ウェブサイトのアクセス件数の増加(万件)	290	212
	施設管理部門の人員確保による安全安心の徹底【平成31年度以降新規社員1名採用】	検討	検討
【Ⅳ. 人材力・現場力の強化】 I 人材の確保と育成 J コンプライアンス体制の強化 K 業務改善への取り組みの推進	コンプライアンスに係る毎年度取組項目を設定(%)	100	80